

令和2年 12月定例会

12月4日から11日まで開催。令和2年度一般会計補正予算など11議案が提出され、全議案が可決された。
また、一般質問では10議員が町政への質問・提案をした。



町長提出議案

3億9千万円余増額し

総額130億円余に

コロナ感染症対策、観光振興推進に総額3133万円を計上

●令和2年度一般会計補正予算

3億9千万円余を増額し、歳入歳出総額を130億4981万円とするもの。
概要は、総務費では、ふるさと納税寄付金4億円の追加に伴う寄付金謝礼や返礼品配送手数料など、2億2403万円。民生費では、給付対象者の見込増などによる障がい者自立支援給付費など、6551万円。商工費では、コロナ禍での商工振興ならびに観光振興推進に伴う施設の改修費の支援費など3133万円。災害復旧費では、4475万円などの増額補正となっている。

可決（全員）

主な補正

（△は減額）

歳入

- 国庫支出金 168万円
- 県支出金 2952万円
- 寄付金 4億円
- 繰入金 4億591万円
- 諸収入 154万円
- 町債 2410万円

歳出

- 返礼品配送手数料 5052万円
 - ふるさと納税寄付金謝礼 1億円
 - 障がい者自立支援給付費 3400万円
 - ふるさと納税寄付金受領業務手数料 4591万円
 - 自立支援医療費 1千万円
- 前記2件は、これまでの実績により給付対象者の見込み増などによるもの。
- 前記3件は、ふるさと納税寄付金4億円を追加し、10億円を目標として